

卒業生便り

来年度 2022 (令和 4) 年は、東住吉高等学校に芸術文化科が設立されて 30 年目の年度にあたります。

そこで今回は様々な分野で活躍されている芸術文化科卒業生の方々を代表して 2 人の方に近況を報告いただきました。

生徒・講師として芸文科に関わって

寺田 夢酔 芸術文化科 1 期生



芸文文化科 1 期生の寺田夢酔と申します。『演劇集団よろずや』という劇団を主宰しており、俳優・脚本家・演出家として活動しております。

11 期生から 15 年間は「演劇」3 年生担当講師として、自分の学生時代を含めると 18 年間学校にお世話になりました。来年度の入学生は 30 期とのこと。隔世の感を禁じ得ません。芸文在学中の 1996 年に演劇集団よろずやを旗揚げし、21 年は結成 25 周年の節目の年となります。

現在はビジュアルアーツ専門学校大阪・声優学科の学科責任者、そして全学科の 1 年生学年主任を担当しております。

劇団活動では、コロナ禍により昨年の公演が延期となりましたが、今年の 9 月に大槻能楽堂での公演を予定しています。

外部の活動では藤山直美さん主演「おあきと春団治」(5 月大阪公演・松竹座・7 月東京公演・新橋演舞場)の脚本を担当します。

芸文で先生方から学んだことは、まさに血肉となっており、その教えを次代を担う若者に継承すべく芸能活動と教育に携わっております。



演劇集団よろずや 広島東洋カープ 公認、炎のストッパー津田恒美物語「バイバイ」より

学んだことを日常生活に生かして

末浪 莞樹 芸術文化科 2 期生



現在の私は、会社員として営業と総務の仕事に従事しています。

取引先と商談や見積作成を行ったり、会社に在籍する外国人従業員の在留資格の書類作成などの業務を行っています。先日仕事で一緒した方の中に、芸文科現役生のお父様がいらっしゃいました。卒業して 20 年以上経つと、このような出会いもあり、今までとまた違った芸文科との新しい繋がりを感じました。

私は日々の生活の中で能や狂言、文楽や歌舞伎、落語や漫才をよくテレビ等で見ます。ゆっくりとした動きや美しい所作を観たり、面白い所で笑うことで心の疲れが軽くなり、前向きな気持ちになります。

芸文科創設者の仲慶謚先生が、「芸文科は芸能人を育てる所ではないのです。上方芸能を学び、学んだ事を将来の日常生活の中で活かして欲しいと思います」とおっしゃっていました。

私達卒業生を天国からご覧になって「芸文科を創設して良かった」と笑ってくださっていたら、嬉しい限りです。



当時の芸文科案内パンフレットと ニュースペーパー

クは素晴らしく、生徒たちともいい距離感を持って過ごせた学年だと自負している。

これからはそれぞれの道でヒガスミで学んだことを活かし頑張りたい。

最後に **Go Beyond the Limits!**



同窓会委員 (クラス幹事と学年幹事)

普通科 64 期生・芸文文化科 26 期生

- | | | |
|-----|-------|--------|
| 1 組 | 古澤 雄真 | 中村 瞳 |
| 2 組 | 猪原 拓実 | 兼高 隼乃介 |
| 3 組 | 工藤 遥馬 | 高峰 ひなた |
| 4 組 | 佐脇 光星 | 山内 りな |
| 5 組 | 國友 颯 | 廣本 菜々美 |
| 6 組 | 大谷 悠也 | 谷元 梨乃 |
| 7 組 | 土居 潤平 | 橘 香奈 |
| 8 組 | 片山 泰志 | 山下 愛梨菜 |

学年幹事 佐脇 光星 中村 瞳

